

7. 消費者へのアドバイス

- 1) 特に乳幼児等は「虫よけ剤」を習慣的に使用するのではなく、必要な場合に限り使用する
消費者アンケート結果より、子供の場合6割以上の人が2歳未満から虫よけ剤を使用し始めており、週3回以上使用している子供が約6割、毎日使用している子供も約2割であるという実態が分かった。一方、メーカー等への調査では「皮膚が敏感なため」「肌がしっかりしてないためアルコールの刺激が心配」「特段の理由はないが、安全を期して」等の理由で、乳幼児への使用を控えたほうがよいとの回答がみられた。また、「乳幼児のための家庭用品にはできるだけ化学物質を使わせまい(*)」という基本的な考え方もあるため、子供、特に乳幼児には習慣的な使用を避け、特に虫が多い所に行く場合に限り使用するよう心がけたい。

*: Q&A 家庭用品の基準(平成3年厚生省生活衛生局企画課生活科学安全対策室監修)より抜粋

「乳幼児の肌は非常に柔らかく若しくは濡れていることが多く、化学物質が体内に吸収される可能性が大きいこと、さらには乳幼児は一般に身近かなものを舐める傾向があること等から、大人の場合にはある程度まで使用が認められる物質も、乳幼児には使用を認めないということもあり得るわけである。この乳幼児製品には特に厳しい基準を作るという考え方の根本にある思想は、乳幼児のための家庭用品にはできるだけ化学物質は使わせまいということであり、特に必要があるために使う場合には確かめられたものを必要最小限だけ使うようにしようという、保健衛生上の先取りの非常に厳しい考え方に基づくものである。」

- 2) エアゾールタイプは付着効率が悪く粒子の吸入が考えられるので、子供への使用は一旦手にとるなどの工夫をじたほうがよい。また、テスト結果を参考にし、より安全に使用できる
ようタイプの特徴を考慮して選ぶとよい

今回テストした4種類のタイプのうち、エアゾールタイプは使用方法が簡便であり消費者のアンケート結果等でも子供に多く使っていることが分かった。しかし、「スプレーした時、ガスを吸い込みせき込む」、「目や口、鼻などに入ることがありそうで不安」など、吸入した時の不調や不安の声も見られ、テスト結果からも、粒子が小さいため広く飛び散り付着効率が悪いことから粒子を吸入する事が考えられた。一方、塗るタイプは、付着効率が良く、吸入の心配も少ないことが分かった。

乳幼児には、塗りやすさだけで商品を選ぶのではなく、テスト結果を参考にし、より安全に使用できるようタイプの特徴を考慮して選ぶとよい。

- 3) 乳幼児には、より安全に使用するため、手や顔への使用を控えるとともに、長袖、長ズボンの着用などで露出部を少なくするなどの工夫も考える

消費者アンケートの結果より、子供に対し、腕だけでなく手の部分にも7割以上の人が使用しており、顔に使用している人も約1割みられた。また、2歳未満から使用し始める実態も分かったため、特に乳幼児には、口に触れることが多い手や顔への使用は控えたい。

また、虫よけ剤だけに頼るのではなく、通気性の良い長袖や長ズボンなどの着用などで露出部を少なくするなどの工夫も考えるとよい。

- 4) 医薬部外品のディートの濃度は銘柄による差があり、中には医薬品に近いものもみられたので、医薬部外品であっても医薬品と同様に使用量などの取扱いに注意しよう

商品の中に含まれるディート濃度を調べた結果、医薬品として販売されているものは、ほぼ同じディート濃度であったが、医薬部外品では差があり、医薬品に近い濃度のものもあれば、3分の1程度のももあった。しかし、表示から消費者がディート濃度を知ることは困難であることが分かったため、医薬部外品であっても「濃度が低くて安心」と思わず、医薬品と同様に使用量や使用方法などの取扱いに注意したい。

8. 業界への要望

1) 使用者、使用状況によって、1回の使用量に大きな差がみられたが、商品には具体的な使用量等の表示がされていなかった。安全かつ有効な使用方法を明確に表示してほしい

モニターテストを行った結果、1回の使用量は、モニターにより差があったほか、公園あるいはキャンプでの使用状況の違いによっても大きな差がみられた。

また、モニターテストでのディート付着量がメーカー回答値より少なく、メーカー等が想定している効果が得られないと思われる場合があった。一方、ディート付着量が多く、毎日、使用し続けることに注意が必要だと思われる場合もあることが分かった。

商品の使用量表示は、「適量」等の記載のみで具体的でないことから、安全かつ虫よけに有効な使用量や使用方法を明確に表示してほしい。

2) 子供に対し安全に使用できるよう、使用方法の表示を明確にしてほしい。特に乳幼児に対して虫よけ剤を使用することの是非について十分検討の上、表示してほしい

子供に使用することが多い商品であり、子供への使用が大人とは異なる量や使用方法があるのであれば、安全に使用できるよう明確に表示してほしい。

パッケージを見ると、乳幼児、子供のイラストや、「赤ちゃん、乳幼児、小児にも安心」等の表示も見られたが、メーカー等への調査では、「乳幼児の使用を控えたほうがよい」との回答もあったことから、特に乳幼児への虫よけ剤の使用の是非を十分検討の上、表示してほしい。

3) エアゾールタイプは、付着効率が悪く吸入されることから子供への使用について再検討することを要望する

今回のテスト結果より、エアゾールタイプは、他のタイプに比べ付着効率が悪く、同じスプレーのポンプタイプと比較して粒子がかなり小さかった。付着の様子を見ても、周囲に拡散しやすく、使用する際、吸入することが考えられた。

そこで、子供に使用することが多い商品であることを踏まえ、より安全に使用することができるよう再検討してほしい。

4) 医薬部外品のディート濃度は差があるにもかかわらず、表示していないものがあるので表示を要望する。また、表示濃度の記載方法が異なっていたので、表示方法の統一を要望する

ディート濃度を調べた結果、医薬品は差がなかったが、医薬部外品では濃度に差がみられた。医薬部外品は、ディート濃度の表示がないものが多く、どれだけ含まれているかを知ることができないので、ディート含有量の表示を要望する。また、表示があっても記載方法が異なり、分かり難いものもあったため、含有量の表示方法の統一を要望する。

9. 行政への要望

1) 特に、子供に使用した場合のディートの安全性について検討を要望する

近年、アメリカやカナダ等でディートの安全性について再評価が行われ、特に子供への使用について検討されている。一方、日本で販売されているディートを含む「虫よけ剤」を調べた結果、銘柄によっては「乳幼児や首筋にも安心してお使いになれます」等の表示もみられる現状にあった。

消費者アンケートの結果、子供に対し日常的に使用されていることから、ディートの安全性について検討を要望する。

2) 消費者がより安全に「虫よけ剤」を使用できるよう、使用方法、使用量及び使用上限量について具体的な表示をするよう指導を要望する

モニターテスト結果では、使用者及び使用目的の違いによって、「虫よけ剤」の使用量に大きな差がみられた。そのため、メーカー等が想定している使用量より少量の使用のため効果が得られないのではないかと思われる場合や、使用量が多い人が連続使用したときには注意が必要となる場合もみられた。

消費者がより有効でかつ安全に「虫よけ剤」を使用できるよう、使用方法、使用量、使用上限量の具体的な表示を記載するよう業界の指導を要望する。

3) 医薬部外品の「虫よけ剤」にディート濃度の表示をするよう指導を要望する。また、ディート濃度の表示方法を統一するよう指導を要望する

医薬部外品の「虫よけ剤」は、ディート含有量の表示がないものが多く、ディートがどれだけ含まれているかを消費者が知る事ができない状況であった。

ディート濃度について表示をするよう業界の指導を要望する。

また、表示があっても記載方法が異なり、分かり難いので、含有量の表示方法を統一するよう業界の指導を要望する。

10. テスト方法

1) 商品中のディート濃度について

(1) エアゾールタイプ

予め重量を測定しておいたチャック付ビニール袋にエタノール 10ml を入れ、重量を測定した。エアゾールタイプの虫よけ剤を袋の中に向かって約 3 秒間スプレーし、噴射物をトラップした。冷蔵庫に 40 分以上放置した後、重量を測定し、袋の中のエタノールを 50ml のメスフラスコに入れ、適量のエタノールを用いて袋を洗い込み、定容したものを、FID-GC にて測定した。

なお、噴射量とトラップされた薬液量の差を、噴射量中のガス量とした。

(2) ポンプタイプ、液体タイプ

薬液そのものを希釈し、定容したものを FID-GC にて測定した。

(3) ティッシュタイプ

エタノールを 100ml 加え、振とう機を用いて 10 分間振とうした後、10 分間超音波をかけて得た抽出液を吸引ろ過し、洗い込む。残さ（ティッシュ）をポリビンに戻し、同様の操作を繰り返した。ろ液を合わせ希釈、定容したものを、FID-GC にて測定した。また、ティッシュを 80 度で 5 日間乾燥させ、重量変化を測定し、染み込んでいる薬液の重量とした。

* ガスクロマトグラフ操作条件

機種：Hewlett-Packard 5890 series II

検出器：FID

カラム：CBP-1-25-050

内径：0.32 mm

長さ：25 m

膜厚：0.50 μ m

温度

注入口：250 $^{\circ}$ C

検出器：250 $^{\circ}$ C

カラム：100 $^{\circ}$ C (1 min) \rightarrow +20 $^{\circ}$ C/min \rightarrow 250 $^{\circ}$ C (2 min)

ガス

キャリアー：ヘリウム 10 psi

助燃：水素、空気

注入方法：スプリットレス (ページ開始時間：注入後 1 min)

2) 商品の付着効率とその特徴

(1) 付着量について

<スプレータイプ>

垂直に設置したろ紙(40cm×40cm)に向けて、所定の距離(表 15)から商品を噴射し、ろ紙に付着させた。スプレー前後のろ紙重量を測定し、付着量を求めた。また、商品減量から噴射量を求め、付着量/噴射量より、付着効率を求めた。

表 15. 噴射距離一覧

	エアノールタイプ								ポンプタイプ			
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
噴射距離 (cm)	15	10	15	15	10	12.5	10	10	10	10	12.5	10

<塗るタイプ>

一定の圧力で商品を塗り、ろ紙（15cm×20cm）に付着させた。付着前後のろ紙の重量を測定し付着量を求めた。商品減量から使用量を求め、付着量/使用量より付着効率を求めた。

(2) 粒子径について

レーザー回折式粒度分布測定装置を用い、レーザー光より 10cm の距離より噴射させ、粒子の大きさを測定した。なお、微粒子の割合については、測定機器の関係で 10.44 μm 以下の粒子の割合を調べたものとした。

* 試験条件

試験機：レーザー回折式粒度分布測定装置 スプレーテック RTS500 シスメック(株)製

試験温度：検体温度 25℃ 試験室温度 22℃ 試験室湿度 29%RH

噴射距離：レーザー光より 10cm の距離より噴射

3) モニターテスト

マネキン（5歳児相当）の口・鼻周辺、首、腕、脚にビニールレザーを取り付け（表16写真）、モニター20名に8銘柄を使用してもらった。使用量や使用方法について具体的な記載がなかったので、使用方法の指示はせずに自由に使用してもらった。

また、状況によって使用量、使用方法等の違いを調べるため、「昼間に公園へ2～3時間行く場合（公園）」と、「キャンプなどに行き、長時間、虫に刺されるのを防ぎたい場合（キャンプ）」という2つの使用状況を設定した。

終了後、ビニールレザーを250mlのポリビンに入れ、エタノール100mlを加え、振とう機で5分間激しく振とうし、抽出液をGC検液とした。測定方法は上記（ガスクロマトグラフ操作条件）に示した通りである。

なお、本テストに用いたビニールレザーは、人肌にできるだけ近い状態を再現するための素材として選択した。

表16. モニターテストについて

<p>マネキン</p>	 <p>身長：110cm（5歳児相当） ビニールレザーを取り付けた箇所 口・鼻周辺（スプレータイプのみ） 首、腕（半袖から露出している部分、手の平・甲を除く）、脚（半ズボン・靴下から露出している部分）</p>
<p>商品使用量</p>	<p>商品の使用前後で変化した重量</p>
<p>マネキン1体に付着したディート量</p>	<p>各部のビニールレザーに付着したディート濃度と露出表面積から算出</p>
<p>商品の付着量</p>	<p>ビニールレザーに付着したディート量より算出した商品量</p>
<p>付着濃度</p>	<p>ビニールレザーに付着した商品量と表面積（ビニールレザーを張った首・腕・脚の合計表面積＝2350cm²）から算出した濃度（商品量/cm²）</p>
<p>付着効率</p>	<p>付着量/商品使用量</p>

虫よけ剤 アンケート結果一覧

総数 N = 217

	年齢						性別		子どもの人数						1. 虫よけ剤を知っているか		2. 効果について													
	20代	30代	40代	50代	60代	その他	無回答	男性	女性	無回答	0人	1人	2人	3人	4人以上	無回答	知っている	言葉は知っている	知らない	その他	無回答	効果がある	効果がない	効果が強すぎる	効果が弱すぎる	商品による効果の差はない	商品による効果の差は大きい	商品によつて効果の差は大きい	よく分からない	その他
件数	19	153	29	0	1	0	15	7	208	2	0	48	132	27	5	5	215	2	0	0	0	114	4	0	15	15	23	68	5	2
%	8.8	70.5	13.4	0.0	0.5	0.0	6.9	3.2	95.9	0.9	0.0	22.1	60.8	12.4	2.3	2.3	99.1	0.9	0.0	0.0	0.0	52.5	1.8	0.0	6.9	6.9	10.6	31.3	2.3	0.9

	3. 安全性について										4. 医薬品と医薬部外品				5. ディートについて				6. 購入時目安にする表示				7. 自分に使用		8. 子どもに使用													
	不安は感じていない	化学品なので不安	子どもの使用は不安	殺虫剤より安心	スプレーを吸うと危険	傷口にかかるとよくない	他の薬品と一緒に使うとよくない	衣服の上に使用するのによくない	天然成分配合のものを使う	安全性より虫に刺されな	よく分からない	その他	無回答	知っていた	知らない	知っていたが違いが分からない	知らなかった	その他	無回答	効果も含めて知っている	名称を聞いたことはある	成分表示でみたことがある	知らない	その他	無回答	医薬品の記載	医薬部外品	天然成分配合	ディート濃度濃いもの	ディート濃度薄いもの	特にな	その他	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない
件数	29	79	78	35	143	95	27	15	9	44	5	6	1	7	52	154	4	0	1	11	7	198	0	0	13	1	58	2	1	122	24	4	197	20	0	197	14	6
%	13.4	36.4	35.9	16.1	65.9	43.8	12.4	6.9	4.1	20.3	2.3	2.8	0.5	3.2	24.0	71.0	1.8	0.0	0.5	5.1	3.2	91.2	0.0	0.0	6.0	0.5	26.7	0.9	0.5	56.2	11.1	1.8	90.8	9.2	0.0	90.8	6.5	2.8

使ったことのない方 (記入者本人)

N = 20

	10. 使ったことのない方への設問												
	① なぜか					② 今後使用したいか							
	商品を知らなかった	使う必要がなかった	安全性が心配	皮膚が弱いから	他の薬を塗っている	湿疹があるから	その他	無回答	機会があれば使用	なるべく使いたくない	分からない	その他	無回答
件数	0	12	3	5	0	2	1	4	2	8	3	0	7
%	0.0	60.0	15.0	25.0	0.0	10.0	5.0	20.0	10.0	40.0	15.0	0.0	35.0

使ったことのない方 (子ども)

N = 26

	10. 使ったことのない方への設問												
	① なぜか						② 今後使用したいか						
	商品を知らなかった	使う必要がなかった	安全性が心配	皮膚が弱いから	他の薬を塗っている	湿疹があるから	その他	無回答	機会があれば使用	なるべく使いたくない	分からない	その他	無回答
件数	0	10	5	3	0	0	1	11	1	9	3	0	13
%	0.0	38.5	19.2	11.5	0.0	0.0	3.8	42.3	3.8	34.6	11.5	0.0	50.0

虫よけ剤 アンケート結果一覧

使用経験あり (記入者本人) N= 197

9. 使用経験あり (自分について)																																								
①1年以内に使用			②初めて使用した年齢					③最も使用するタイプ					④選んだ理由					⑤つける場所					⑥いつ使うか					⑦何の虫か												
使用した	使用していない	無回答	未回答	1歳以下	1歳~3歳	3歳~5歳	5歳以上	無回答	エアゾール	ポンプ	ティッシュ	液体	その他	無回答	使いやすい	安い	安全	効果がある	その他	無回答	部屋の中心	玄関	車の中	屋外	その他	無回答	散歩	屋外での作業	海山などのレジャー	海外旅行	就寝時	その他	無回答	蚊	ブヨ	ノミ	ダニ	ハエ	その他	無回答
168	24	5	51	8.2	106	33	0	7	132	49	34	9	3	2	143	42	23	17	20	3	36	81	8	139	1	3	82	125	135	8	1	16	2	195	58	1	5	1	0	2
%	85.3	12.2	2.5	25.9	53.8	16.8	0.0	3.6	67.0	24.9	17.3	4.6	1.5	1.0	72.6	21.3	11.7	8.6	10.2	1.5	18.3	41.1	4.1	70.6	0.5	1.5	41.6	63.5	68.5	4.1	0.5	8.1	1.0	99.0	29.4	0.5	2.5	0.5	0.0	1.0

9. 使用経験あり (自分について)																																			
⑧身体のどこに使用するか							⑨効果は			⑩使用頻度					⑪1回使用量					⑫つけ直し間隔					⑬体調の異常										
全衣服の上から	頭	首	手	腕	足	その他	無回答	あった	なかった	分からない	無回答	ほぼ毎日	週3回程度	週1回程度	月2回程度	月1回程度	その他	無回答	エアゾール(秒)	ポンプ(回)	ティッシュ(枚)	液体(回)	無回答	1時間未満	1~2時間	2~3時間	3~4時間	4~5時間	5~6時間	6時間以上	つけ直さない	無回答	あった	なかった	無回答
8	10	58	139	190	190	1	2	130	7	57	3	27	57	51	27	17	16	2	135	62	48	18	6	2	9	13	15	7	7	3	137	4	7	187	3
%	4.1	5.1	29.4	70.6	96.4	0.5	1.0	66.0	3.6	28.9	1.5	13.7	28.9	25.9	13.7	8.6	8.1	1.0	68.5	31.5	24.4	9.1	3.0	1.0	4.6	6.6	7.6	3.6	3.6	1.5	69.5	2.0	3.6	94.9	1.5

使用経験あり (子ども) N= 328

9. 使用経験あり (子どもについて)																																										
①1年以内に使用			②初めて使用した年齢					③最も使用するタイプ					④選んだ理由					⑤つける場所					⑥いつ使うか					⑦何の虫か														
使用した	使用していない	無回答	生後6ヶ月未満	6ヶ月~1歳未満	1歳~2歳未満	2歳~4歳未満	4歳~6歳未満	6歳以上	無回答	エアゾール	ポンプ	ティッシュ	液体	その他	無回答	使いやすい	安い	安全	効果がある	その他	無回答	部屋の中心	玄関	車の中	屋外	その他	無回答	散歩	屋外で遊ぶとき	海山などのレジャー	海外旅行	就寝時	その他	無回答	蚊	ブヨ	ノミ	ダニ	ハエ	その他	無回答	
312	13	3	18	67	120	103	18	2	0	192	79	76	9	8	0	231	67	68	15	23	0	77	138	13	235	1	0	135	301	207	10	1	15	0	328	98	3	7	0	2	0	
%	95.1	4.0	0.9	5.5	20.4	36.6	31.4	5.5	0.6	0.0	58.5	24.1	23.2	2.7	2.4	0.0	70.4	20.4	20.7	4.6	7.0	0.0	23.5	42.1	4.0	71.6	0.3	0.0	41.2	91.8	63.1	3.0	0.3	4.6	0.0	100	29.9	0.9	2.1	0.0	0.6	0.0

9. 使用経験あり (子どもについて)																																			
⑧身体のどこに使用するか							⑨効果は			⑩使用頻度					⑪1回使用量					⑫つけ直し間隔					⑬体調の異常										
衣服の上から	頭	首	手	腕	足	その他	無回答	あった	なかった	分からない	無回答	ほぼ毎日	週3回程度	週1回程度	月2回程度	月1回程度	その他	無回答	エアゾール(秒)	ポンプ(回)	ティッシュ(枚)	液体(回)	無回答	1時間未満	1~2時間	2~3時間	3~4時間	4~5時間	5~6時間	6時間以上	つけ直さない	無回答	あった	なかった	無回答
13	31	129	244	318	317	8	0	204	17	104	3	69	117	62	40	15	20	5	200	91	104	23	11	1	17	23	33	19	12	8	211	4	9	319	0
%	4.0	9.5	39.3	74.4	97.0	2.4	0.0	62.2	5.2	31.7	0.9	21.0	35.7	18.9	12.2	4.6	6.1	1.5	61.0	27.7	31.7	7.0	3.4	0.3	5.2	7.0	10.1	5.8	3.7	2.4	64.3	1.2	2.7	97.3	0.0

メーカー等への調査結果 (回答数:18)

使用上限値について

	回答	回答数 (内数)	上限値を超えた場合に考えられる症状	
成人	あり	4	<ul style="list-style-type: none"> ・つけすぎるとベタベタして不快 ・特に問題はないと考えるが、皮フの弱い方はかゆみや赤みが出ることも考えられる ・同一皮膚面に続けて3秒以上スプレーすると冷害により肌に影響が出る恐れがある ・上限値;特に使用上限は定めていないがティッシュのため1枚当りの含量が規定されている ・特にない ・ディートのウサギの皮膚に対する刺激性試験で500mg(72hr)で中程度の刺激あり→本品83本相当 	
	なし	14		
	理由	根拠となるデータがない		(8)
		企業秘密		(0)
		その他		(6)
乳幼児・小児	あり	2	<ul style="list-style-type: none"> ・つけすぎるとベタベタして不快 ・同一皮膚面に続けて3秒以上スプレーすると冷害により肌に影響が出る恐れがある ・上限値;特に使用上限は定めていないがティッシュのため1枚当りの含量が規定されている ・作用の穏やかな医薬部外品であり肌に塗布するものなので使用方法が各々異なり、使用上限値を設定できない ・上限は特に設けていない 	
	なし	16		
	理由	根拠となるデータがない		(8)
		企業秘密		(1)
		その他		(6)
		無回答		(1)

使用を避けるべき人について

使用を避けるべき人	回答数	理由
乳幼児	8	<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月未満の子供;肌がしっかりしていないためアルコールの刺激の心配がある ・1年未満;皮膚が敏感なため ・生後3年;ヒフが弱いため、かぶれるおそれがある ・生後3か月未満の子供;ヒフが弱いためかぶれるおそれがある ・1年未満;特段の理由はないが、安全を期して ・6か月未満の子供;新生児期には虫のいるところには連れて行くべきではないので
妊娠期女性	2	・催奇形性の報告はされていないが、念のため医師に相談すべき
授乳期女性	0	
薬を使用している人	0	
アレルギーのある人	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ディートによるアレルギー発現する可能性がある ・かぶれを発症する可能性があると考えられる ・皮膚障害の発症 ・直接皮膚に塗布する製品のため ・人によって症状が現れることがある ・皮膚障害の発症 ・化学物質
ケガをしている人	17	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコールのため、しみる可能性がある ・薬剤が過度に吸収され思わぬ有害事象やケガの治癒を遅らせたりする可能性あり ・創傷治療薬ではなく、健常皮膚に使用する製品のため ・傷口を悪化させる ・成分による刺激 ・傷口への刺激防止 ・刺激を受けやすいため ・異常な刺激感や強い痛みを起こすことがある
その他	1	・ディート等で過敏症状をおこしたことのある人(体質等により肌にあわない可能性があるため)

タイプ	銘柄	製造者 (販売者)	分類	効能、効果	有効成分	使用方法等
スプレーするタイプ	A ムヒの虫よけムシペールPS	開池田模範堂	医薬品	蚊、ブユ(ブヨ)、サシバエ、アブ、ナンキンムシ、 ノミ、イエダニ、ツツガムシの忌避	ディート 原液100ml中12g	<p><使用方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ●初めて使う時は、キャップ上部の安全カバーを取り除くこと。 ●使用前に缶をよく揺って、腕、足などには約15cmの距離から噴霧すること。 ●冷えて固くなることがあるので、同じ箇所に通液して3秒以上噴霧しないこと。 <p><用法・用量></p> <ul style="list-style-type: none"> ●蚊・ブユ(ブヨ)、サシバエ、アブ、ナンキンムシ、ノミ、イエダニの忌避：本剤の適量を用時、腕、足など皮膚の露出部分に噴霧する。顔面、首筋などの場合には適量を一度手のひらに噴霧してから塗布する。 ●ツツガムシの忌避：本剤の適量を4～6時間毎に、皮膚の露出部分及びはきものヤズボンのすそなどにむらなく噴霧する。顔面、首筋などの場合には適量を一度手のひらに噴霧してから塗布する。
	B イーメン虫よけ	大正製薬㈱	医薬品	蚊、アブ、ブユ、イエダニ、ノミ、サシバエ、 トコジラミ(南京虫)及びツツガムシの忌避	ディート 100ml中6.0g	<p><用法・用量></p> <ul style="list-style-type: none"> ●蚊、アブ、ブユ、イエダニ、ノミ、サシバエ及びトコジラミ(南京虫)を忌避させる目的で使用する場合は：適量を用時腕及び足等露出部分に噴霧塗布する。顔面、首筋の場合には適量を一度手のひらに噴霧してから塗布する。 ●ツツガムシの忌避を目的として使用する場合は：適量を4～6時間の間隔をおき露出部分及び履き物ヤズボンの裾等にむらなく噴霧する。顔面、首筋の場合は適量を一度手のひらに噴霧してから塗布する。
	C サラテクトパウダーin	アース製薬㈱	医薬部外品	蚊、ブヨ、アブ、ノミ、イエダニ、サシバエ、 ナンキンムシの忌避	ディート	使用前に缶をよく揺って、腕、足などには約15cmの距離からスプレーし、顔、首筋には手のひらにスプレーしてお肌にくっつけてください。キャップの安全弁を取り除いてからご使用ください。
	D サラテクトディープウッズ	アース製薬㈱	医薬部外品	蚊、ブヨ、アブ、ノミ、イエダニ、サシバエ、 トコジラミ(ナンキンムシ)の忌避	ディート	使用前に缶をよく揺って、腕、足などには約15cmの距離からスプレーし、顔、首筋には手のひらにスプレーしてお肌にくっつけてください。キャップの安全弁を取り除いてからご使用ください。
	E 虫よけバイバイ	開池田模範堂	医薬部外品	蚊成虫、ブヨ、サシバエ、ノミ、イエダニ、 アブ、ナンキンムシの忌避	ディート	<ul style="list-style-type: none"> ●使用前には、よく揺ってお使いください。 ●お肌から約10cm離してスプレーしてください。 ●顔・首すじには一度手のひらにスプレーしてから、塗布してください。 ●約4～5時間ごとにスプレーしてください。
	F スキンガード虫よけ	東洋エアゾール工業㈱ (ジョンソン㈱)	医薬部外品	蚊・ぶよ・ノミ・イエダニを、 お肌によせつけません	ディート	<p>※使用前に缶をよく振りまわす。</p> <p>※はじめて使う時は、キャップ上部の安全弁を取り除いてください。</p> <p>①お肌から10cm～15cmはなしてスプレーし、お肌にまんべんなくのばします。</p> <p>●顔、首筋への使用は手のひらに一度スプレーしてからローションを塗る要領で使います。</p> <p>②使用後、パウダーを振り落とすため、缶を立てた状態で一回スプレーします。</p> <p>●特殊バルブを使用していますので、逆さにしたり、傾けてもスプレーできます。</p>
	G 虫よけキンチョールAパウダーin	大日本除虫菊㈱	医薬部外品	蚊成虫、ブヨ、サシバエ、ノミ、イエダニ、 アブ、ナンキンムシの忌避	ディート	使用前に缶をよく揺って、人体皮膚の露出面(腕、足等)に約10cmの距離からまんべんなく噴射してください。顔、首筋には、手の平に一度噴射してから、肌にくっつけてください。
	H クール虫よけササレン	フマキラー㈱	医薬部外品	蚊、ノミ、イエダニ、ブユ、サシバエ、アブ、 南京虫の忌避	ディート	使用前に缶をよく振り、手足などには約10cm離して、適量をムラなくスプレーし、顔・首筋などには手のひらに一度スプレーしてからぬって下さい。缶を逆さにしてもスプレーできます。
	I ムヒの虫よけムシペールα	開池田模範堂	医薬品	蚊、ブユ(ブヨ)、サシバエ、アブ、ナンキンムシ、 ノミ、イエダニ、ツツガムシの忌避	ディート 100ml中12g	<p><使用方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初に白いプッシュボタンを数回「から押し」してからご使用ください。 ・お肌などから約10cm離し、塗り残しのないようにむらなく噴霧してください。 ・一般的に朝夕は害虫の行動が活発になりますので、その時はさらに2～3回重ね塗りをしていただくこと、より効果的です。 <p><用法・用量></p> <ul style="list-style-type: none"> 1.蚊、ブユ(ブヨ)、サシバエ、アブ、ナンキンムシ、ノミ、イエダニを忌避させる目的で使用する場合は：本剤の適量を用時、顔、腕、足など皮膚の露出部分に噴霧してください。顔面などの場合には適量を一度手のひらに噴霧してから塗布してください。 2.ツツガムシを忌避させる目的で使用する場合は：本剤の適量を4～6時間毎に、皮膚の露出部分及びはきものヤズボンのすそなどにむらなく噴霧してください。顔面などの場合には適量を一度手のひらに噴霧してから塗布してください。
	J 虫よけバイバイ	開池田模範堂	医薬部外品	蚊成虫、ブヨ、サシバエ、ノミ、イエダニ、アブ、 ナンキンムシの忌避	ディート	<ul style="list-style-type: none"> ●使用前には、よく揺ってお使いください。 ●ボタンを数回「から押し」してからお使いください。 ●お肌から約10cm離してスプレーしてください。 ●顔や首筋には一度手のひらにスプレーしてからぬってください。 ●一般的に、虫の行動が活発になる朝夕には少し多く塗布してください。 <p>海に、釣りに、ハイキング、登山、キャンプ、露伴、ゴルフ、夕涼み、おやすみ前にお使いください。</p> <p>ガーデニングの前に！ 海・キャンプに！ 夕涼みに、登山に、おやすみ前に！</p>
K ウナ虫よけスプレーS	興和㈱ (興和製薬㈱)	医薬部外品	蚊、アブ、ブユによる 虫さされの予防	ディート 1ml中35mg	<ul style="list-style-type: none"> ●手足、首すじなど皮膚の露出部に10～15cm離して、適量を噴霧してください。 ●吸入するおそれがありますので、顔面などに使用する時は直接噴霧せず、手のひらに噴霧してから手で塗ってください。 ●最初にお使いになる時は、液が出るまで4～5回押しして下さい。■噴霧口を針等でつつくと折れたとき大変危険です。絶対におやめください。 <p>キャンプ、ハイキングに、 露伴に、 夕涼みに、 登山に、 おやすみ前に</p>	
L スキンガードアクア	東洋エアゾール工業㈱ (ジョンソン㈱)	医薬部外品	蚊・ぶよ・ノミ・イエダニを肌 によせつけません	ディート	<ul style="list-style-type: none"> ●肌から約10cm離して適量をスプレーし、まんべんなくのばす。(顔や首すじに使用する際には、一度手のひらにスプレーしてからローションを塗る要領で行なう。) ●使用後はキャップをつけて保管する。 	
ティッシュタイプの 紙のタイプ	M サラテクトティッシュ	アース製薬㈱	医薬部外品	蚊、ブヨ、アブ、ノミ、イエダニ、サシバエ、 トコジラミ(ナンキンムシ)の忌避	ディート	表面のシールのフタを開け、1枚ずつ取り出して、お肌(首筋、腕及び足等の露出部分)に塗布してください。
	N カスネード虫よけ	開池田模範堂	医薬部外品	蚊成虫、ブヨ、サシバエ、ノミ、イエダニの忌避	ディート	<p>使用時に、不織布を取り出して、首筋、腕及び足等の肌の露出部分に塗布する。</p> <p>●図のように表についているフタの、OPENの部分をつまんで開け、一枚ずつ取り出してお使いください。</p> <p>5～8時間おきにお使いいただくことより効果的です。</p>
	O 虫よけササレンティッシュタイプ	開池田模範堂	医薬部外品	蚊成虫、ブヨ、サシバエ、ノミ、 イエダニの忌避	ディート	<p>使用時に不織布を取り出して、首筋、腕及び足等の肌の露出部分に塗布する。</p> <p>※袋の裏の「OPEN」のところにシールを開けて、1枚ずつ取り出してお使いください。ご使用後は乾燥を避けるため、必ずシールをしっかりと閉めて保管してください。</p> <p>※5～8時間おきにお使いいただくことより効果的です。 露伴に、キャンプなどに、 無事に</p>
	P 虫よけモスガード	和光堂㈱	医薬部外品	蚊・ブユ(ブヨ)などから肌をまもる	ディート	<ul style="list-style-type: none"> ●表側のふたを開け、一枚ずつ取り出し、首筋、腕、足など皮膚の露出部に塗布してください。 ●5～8時間おきにお使いいただくことより効果的です。
	液体タイプ	Q ワナコーワ虫よけ	興和㈱ (興和製薬㈱)	医薬部外品	蚊、アブ、ブヨその他の害虫による 虫さされの予防	ディート 1ml中35mg
R 虫よけぬるタイプ		ジェクス㈱	医薬部外品	蚊、ブヨ、サシバエ、ノミ、イエダニの忌避	ディート	<ul style="list-style-type: none"> ●適量を、首筋、腕、足等の皮膚の露出部に塗布してください。 ●6時間から8時間おきにお使いいただくことより効果的です。

中毒情報センター ホームページより

虫よけ剤

[概要]

蚊、ブヨ、サシバエ、南京虫などの刺咬を防止することを目的に、ヒトの皮膚や着衣に噴霧するもの。一般に、忌避剤にはディート (DEET、ジエチルトルアミド) が使われ、これをエタノールやイソプロピルアルコールなどのアルコールに溶かした液体をエアゾル化したスプレー式の商品が主で、他にローションやクリームタイプもある。ディートの含有量は2～10%がほとんどであるが、50%の商品もある。アルコールはほとんどの商品は30～96%、精製水0～50%、忌避剤の作用を強めるために加えられる共力剤 (サイネピリン222 など) 約2%が主な成分で、スプレー式の商品は噴射剤としてLPG等が使われる。容量は20～100mLと、商品によって異なる。

最近では、ウェットティッシュタイプのものが出てきているが、主な成分は同じである。

[毒性]

ディート、エタノール、イソプロピルアルコールによる中毒を考慮

ディート：ヒト経口最小中毒量

オス 950mg/kg

小児 4,750mg/kg(1)

ヒト経口最小致死量

オス 679mg/kg、メス950mg/kg(1)

33歳女性が100%ディート液を50mL服用後、昏睡、血圧低下、

痙攣を生じ、腸間膜動脈血栓症・腸壊死により死亡した例がある(2)

イソプロピルアルコール：ヒト経口最小致死量 3,570mg/kg(1)

エタノール：ヒト経口推定致死量 成人 6～10mL/kg、小児 3.6mL/kg(2)

[症状]

ディートは急性の経口摂取や、慢性的な皮膚適用の場合に中毒症状を呈する。主に中枢神経に作用し、症状の発現は早く、30分以内といわれる(2)

循環器系：血圧低下

神経系：痙攣、脳疾患…運動失調、過度の緊張、振戦、間代性の攣縮(昏睡や痙攣に進行性)

肝臓：肝炎

眼：中程度の刺激あり。ウサギに100%のディートを適用して角膜混濁、流涙、結膜炎を生じ10日間で治癒した

皮膚：水疱性の発疹、接触性蕁麻疹、そう痒症

精神病：皮膚に繰り返し使用して、急性パラノイア(妄想)を呈した報告あり(2)

イソプロピルアルコール：主に悪心、嘔吐、低血圧、頭痛、血糖低下、ケトosis、体温低下、昏睡、呼吸不全など(2)

エタノール：主に嘔吐、紅潮、頻脈、酩酊、代謝性アシドーシス、血圧低下、血糖低下、痙攣、呼吸抑制、昏睡など(2)(3)

[処置]

家庭で可能な処置

経口：口の中をゆすぐ

眼：流水で15分以上洗浄

経皮：接触部分を水と石鹸で洗浄

医療機関での処置(2)

催吐：ただし、昏睡や痙攣は経口摂取後30分～1時間以内に生じる。

吐根シロップの投与は勧められない

吸着剤と下剤の投与

対症療法

重篤な中毒の場合、肝・腎機能のモニター

[確認事項]

1) 商品の剤型：エアゾルか、ローションか、クリームか

2) 摂取経路：経口摂取か、眼に入ったのか、皮膚接触か

3) 摂取量：なめただけか、口の中でスプレーしたのか

4) 患者の状態：症状の有無

[情報提供時の要点]

1) なめた程度なら家庭で様子を見る

2) 体重10kgの小児で5g(5mL)以上の服用の場合はすぐに受診を指示(4)

3) 眼に入ったり、皮膚接触の場合、洗浄後も痛みや刺激感などがあれば受診を指示

[注意]

エアゾル剤は横向きや逆さまに用いるとガスだけが先に出る。このガスを直接吸ったり、袋の中で吸ったりすると高濃度のLPGを吸入することになるので要注意。

LPGによる中毒はプロパンガスの項 (p. 426) 参照

[体内動態]

デイト

吸収:皮膚適用量の約50%は6時間以内に吸収され、1時間で最高血中濃度に到達する。経口摂取時、

重篤な症状は30分以内に生じることから、吸収はとても早いと考えられる

分布:皮膚適用後、デイトやその代謝物は皮膚や脂肪組織に1~2カ月間残存する

代謝:肝で酸化酵素によって代謝される(2)

イソプロピルアルコール

胃、腸、皮膚から吸収される。血中濃度のピークは服用後1時間である。

半減期は2.5~3.0時間(2)

エタノール

胃・小腸粘膜から主に吸収される。経皮吸収はわずか。経口時の最高血

中濃度到達時間は30分~3時間(2)

[中毒学的薬理作用]

デイト:作用機序は不明であるが、主に中枢神経系に作用する(2)

イソプロピルアルコール:中枢神経抑制作用、粘膜刺激作用(2)

エタノール:中枢神経系、とくに大脳機能、体温調節中枢、血管運動中枢に対する抑制作用、粘膜刺激作用(2)

[治療上の注意点]

イソプロピルアルコールに対して

一般的治療で回復しない患者には血液透析が有効である。強制利尿は効果なし(2)

[参考文献]

(1) RTECS (1992)

(2) Poisindex (1992)

(3) Medical Toxicology (1988)

(4) 新・絵で見る中毒 110 番 (1992)